

ヒメヤノネゴケ

Koponeniella tenerrima (Broth. & Yasuda) Huttunen & Ignatov

兵庫県ランク… C

環境省ランク… ー

■ 県内分布

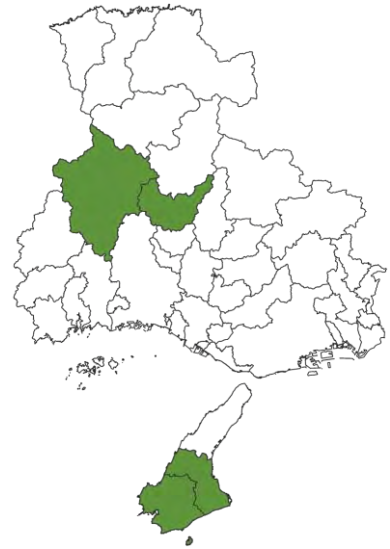
神河町、宍粟市、洲本市、南あわじ市

■ 国内分布

北海道、本州、四国

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

以前は*Bryhnia tenerrima* Broth. & Yas.という学名が用いられてきた。

■ 保護上の留意点

ー

■ 種の概要

植物体はやや小型。茎は基物をはい、数センチの立ち上がる二次茎をつくる。二次茎の葉は長さ1mm程度、卵状披針形から披針形、葉先は鋭頭。基部は耳状にならない。中肋は強く葉頂近くに達する。葉細胞は紡錘形、上端はプロレートする。枝葉は披針形。胞子体はまれ。帽にはほとんど毛がない。茎葉は卵状披針形から披針形で、葉先は漸尖して細く鋭頭。植物体は小型で、茎葉は長さ1mm以下である。